

D-2 今後の課題

(2) 今後の課題

「3人寄れば文殊の知恵」という諺がある。しかし7人という少人数では考えに限界がある。7名ではあるけれど、やはり大集団の多様な考えには及ばない。教師が、8番目となり多様な考えを引き出そうとしても容易ではない。教師が子ども達が及ばない新たな考えを示したりすることで、子ども達の主体性が損なわれる場合もある。また、普段の人間関係が授業に表れ「長きに巻かれろ」的な雰囲気は授業を左右する場合もある。「学びの高まり」や「豊かな発想」は、少人数集団から引き出しにくいのが現状である。

本単元を終えた段階での今後の課題を挙げてみたい。

- ①子ども達の思いを引き出し広めるために、教師は色々な手だてを取り子どもの言い切れない部分を表出させようとしているが、そのことが授業の流れを停滞させる時もある。今後、子ども達の話す力を高め、理科のみならず他教科や学校生活全般の中で、子ども達自身の語彙力を高め、自分の思いを多様な言葉で表出し、聞き手に伝える事ができるよう育てていきたい。育んでいきたい。
- ②子ども達が食いつくような課題や素材を提示し興味・関心を抱かせる授業も今後もっともっと工夫していききたいが、地味な課題や素材でも粘り強く集中し解決していく子ども達を育んでいきたい。
- ③お互いを知り尽くしているため、友達に対して質問をしたり、聞き返したり、考えの矛盾を指摘する部分が弱い。自分が分からないこと理解できないことは、ねばり強く追究していく姿勢を今後培っていききたい。